



森の楽校だより

VOL. 10

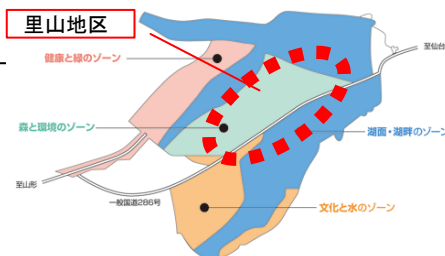


森の楽校とは？

みちのく公園里山地区は、雑木林におおわれた森のエリアです。人と自然のかかわりや、生物多様性について学び体験できる里山として、平成 26 年に開園を予定しています。

市民が身近な自然に親しみ、里山活動に気軽に参加する機会を設けるため、昨年度に引き続き、「みちのく森の楽校」を開催します。「森の楽校」では、森に係るさまざまな活動を楽しみながら、これからの里山と人のかかわりを築いていきます。

平成 24 年度は活動の拠点となるツリーハウスづくりを中心にビューポイントや園路づくり、施設づくりなど活動の場を広げていきます。



8月25日（土）曇り 活動10回目、様々な作業が進行中！

森の楽校の活動も今回で 10 回目を迎えました。活動場所では、ツリーハウスを中心に様々な作業が進められています。

●セカンドデッキ

セカンドデッキは高所での作業となるため、現在は安全確保のため、スタッフによる足場の設置と土台、根太の取り付けなどの作業を行っています。

今後は、作業を手分けして床板用の板引き、床板の取り付け、手摺の設置などを行っていく予定です。



●小屋づくり

今回は、前回に引き続き作業台の製作と屋根の垂木の取り付けなどを行いました。

今後は、屋根をかける作業を行い、小屋の完成を目指します。また、ベンチなどの製作にも取り掛かる予定です。



●水場づくり

今回の作業で、水場への階段づくりはひとまず、完成です。

今後は、沢水を集めるためのといの設置や、その他の園路づくり等の作業も行っていく予定です。



小屋づくり

以前に作った小屋組み（小屋の骨格）により強度を持たせるため、方杖、火打などの補強材を入れ、垂木の取り付けを行いました。
また、作業台には天板をとりつけるなど小屋づくりは着々と進んでいます。



棟木と軒桁に等間隔に垂木を渡していきます。
この垂木に屋根となる板を張っていきます。



柱、梁、桁など小屋の骨組みとなる構造材が直角に交わる部分に補強材を入れていきます。



前回作った作業台の脚の部分の水平を確認し、天板となる板材を並べていきます。



柱と梁、桁など垂直方向の補強材が方杖。梁と桁など水平方向の補強材を火打といいます。



天板の角を揃えながら、固定していきます。

水場の階段づくり



水場の階段の残り 1/3 を作り終わりました。
全部で 20 段ほど、これで水場への行き来は随分楽になります。



特に傾斜のきつい階段に立ち木を利用して丸太の手摺を取り付け、水場の階段は完成です。

my皿、myスプーン

「外で食べるごはんはカレーが1番」という声が多く、今回もお昼はカレーになりました。
それぞれ「my 皿、my スプーン」を持参して、デッキの上での昼食となりました。



夏の草花その2

今回紹介する草花はどれも里山の日陰を好む植物ですが、花はとても色鮮やかです。



フシグロセンノウ



ヤマジノホトトギス



コバギボウシ